

矢板市地域公共交通網形成計画の評価等結果（令和5年4月～6年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
【令和6年度までに】 公共交通の利用者数 (1日当たり) 80人以上	デマンド交通及び中央部循環路線への再編、地域共助型生活交通の導入	運行の乗務記録を集計	<p>1日当たり利用者数 89.6人</p> <p>◆R5.4～R6.3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通 46.6人 ・中央部循環路線 21.7人 ・地域共助型生活交通 21.3人 <p>【参考】昨年度R4.4～R5.3 83.6人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通 42.5人 ・中央部循環路線 21.7人 ・地域共助型生活交通 19.4人 <p>目標を達成した。</p>	<p>デマンド交通は、令和3年の運行開始から認知度の高まりや新型コロナウイルス感染症の終息に伴い登録者数、利用者数ともに増加傾向にある。現状は対応可能な範囲の増加であるが、増加傾向が続いた場合にも円滑に運行できるよう、体制について検討する。</p> <p>中央部循環路線は、城の湯温泉での待機時間等の課題の解消のため、路線やダイヤの見直しを検討する。</p> <p>地域共助型生活交通は、運行主体から課題等をヒアリングし、解決のサポートを行う。</p>	
【令和6年度までに】 広告等掲示申込件数 10件以上	バス停ネーミングライツ事業や広告掲載要綱の作成、ホームページ等での周知	申込件数で把握	<p>広告等掲示申込 4件278,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停ネーミングライツ 1件 50,000円 ・広告収入 3件 228,000円 <p>バス停ネーミングライツ事業及び広告収入については前年度からの引き続きの申請のみであり、新規申し込みはなかった。</p>	<p>バス停ネーミングライツ事業は、バス停近くに所在する店舗等にお知らせをして申込件数の増加を図る。</p> <p>広告掲載は、3件ともR6.9が期限のため、継続の意思確認や新規受付を適切な時期に実施する。</p>	未

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。